

👂 耳でも聞ける

議会だより

2023 No. 204

令和5年4月26日発行
岩手県紫波町議会



ほ いく えん

わ

主な内容

令和5年度予算 一般会計

暮らしを支える町の実現を！ 2

代表質問・一般質問

9議員が町政を問う 15

入園式 P28 に関連記事

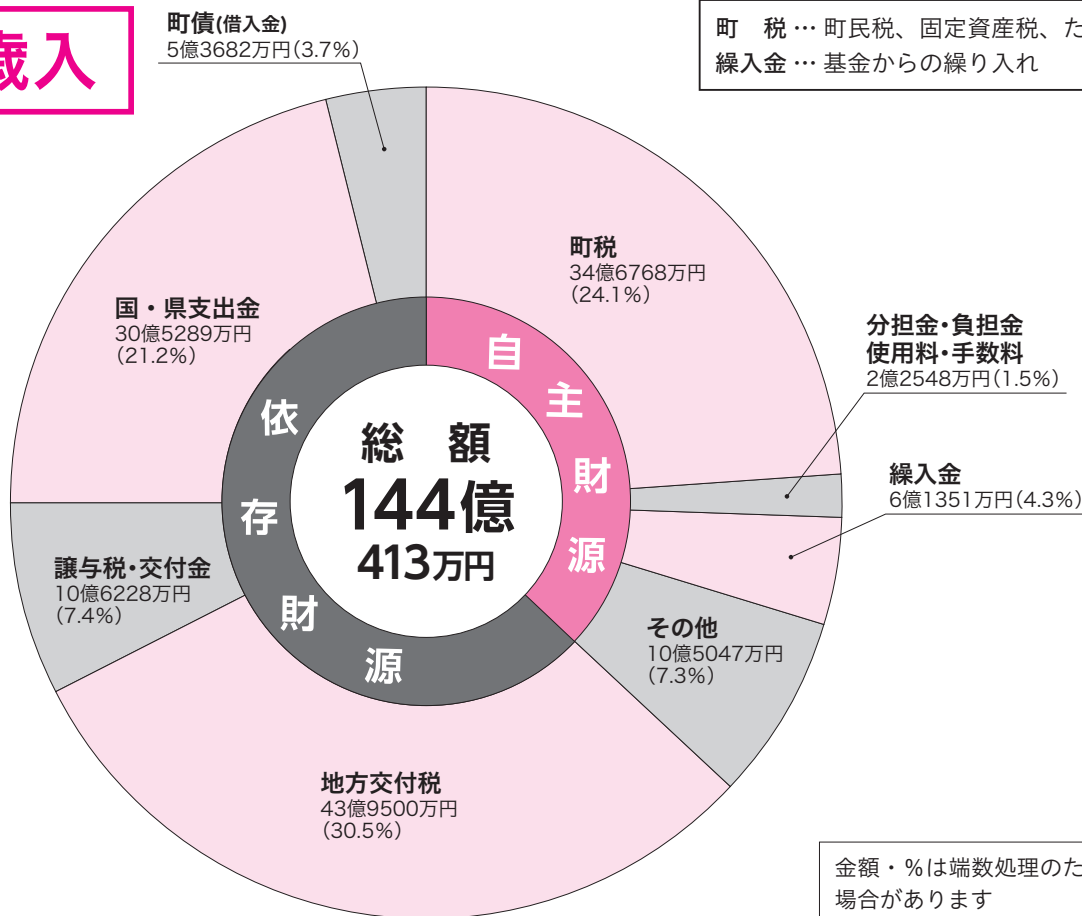
町の実現を！

定例会
3月会議

2月27日～3月24日

案は全て可決されました。代表質問は3会派、一般質問は6人が行い、それぞれ農業、環境、福祉、教育など行政運営全般について町の考えを質しました。

歳入



令和5年度は町政を担い、10年目の節目の年であります。これまでの9年間は、町の課題に全力で取り組み、一歩ずつ前へと進め、学校再編、古館駅前整備事業、紫波中央駅のバリアフリー化着手などが形になってまいりました。しかし、目の前にはまだ多くの課題が山積みしております。

それぞれの家庭で紡がれる温かく穏やかな日々、この変わらない私たちの暮らしを守り発展させていくことこそが、私の使命であります。

この節目の年を迎え、心を新たにし、世界を覆う閉塞感と向き合いながら、次の10年に目を向け、引き続き町政の発展に努めてまいります。

私の信条は「スマイル・ネットワーク・チームワーク」であります。職員は、スマイルとチームワークに特に力を入れ、笑顔で相談しやすい職場づくりをし、より良い行政サービスを実践します。各分野で町民の皆様と共に創り「暮らし心地の良いまち」の実現を目指してまいります。

町長所信表明



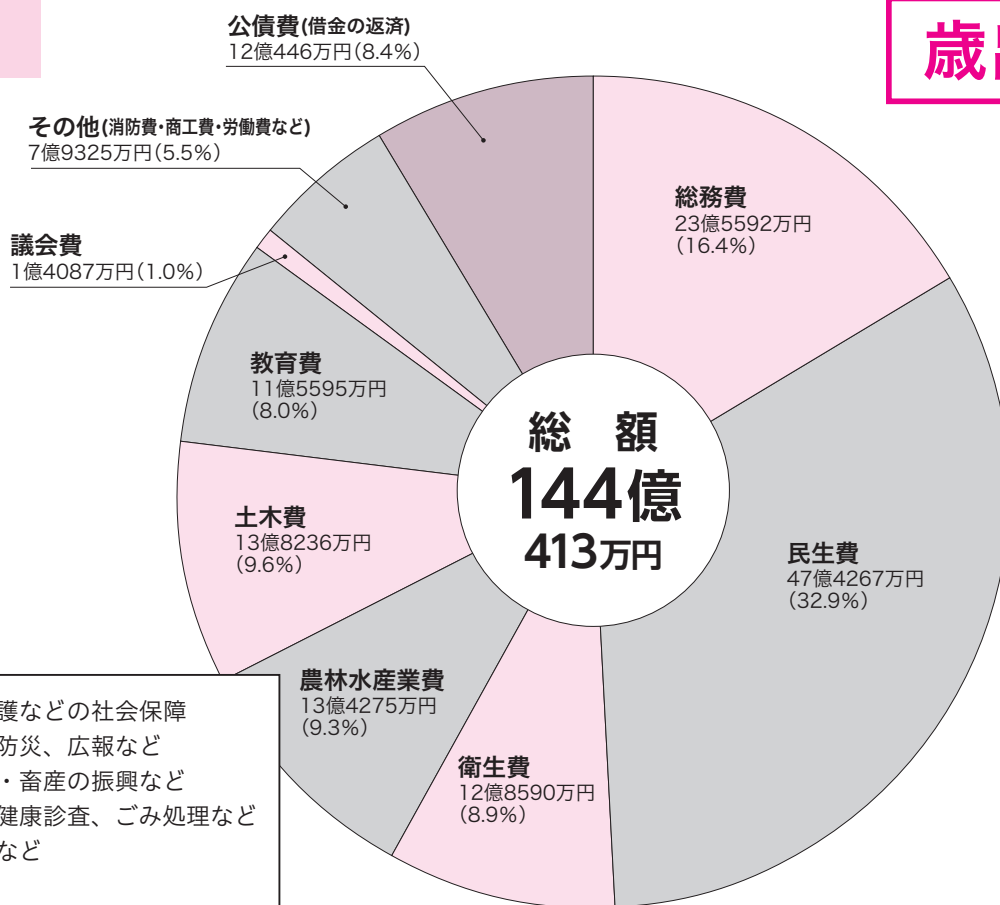
令和5年度予算

暮らしを支える

定例会3月会議は、26日間の日程で行われました。町長から出された案件は33件でした。その他に紫波町議会個人情報情報の保護に関する条例などが議員発議で提出され、36議

一般会計

歳出



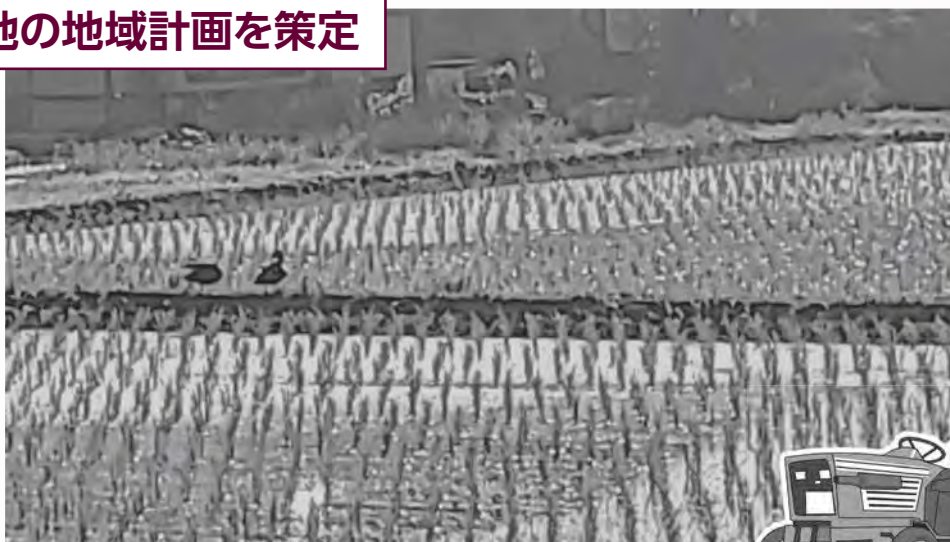
民生費…子ども、介護などの社会保障
総務費…庁舎管理、防災、広報など
農林水産業費…農業・畜産の振興など
衛生費…予防接種や健康診査、ごみ処理など
教育費…学校の運営など
公債費…借金の返済
土木費…道路や橋、河川、町営住宅管理など
その他…消防費、商工費、労働費など

会 計 名	令和5年度予算	令和4年度予算	議決の内容
一般会計	144億413万円	141億1126万円	全員賛成により可決
国民健康保険事業会計	32億4793万円	33億2848万円	全員賛成により可決
後期高齢者医療会計	3億6760万円	3億5581万円	全員賛成により可決
介護保険事業会計	34億9060万円	34億4760万円	全員賛成により可決
介護予防サービス計画事業会計	690万円	717万円	全員賛成により可決

下水道事業	令和5年度予算	令和4年度予算	議決の内容
収益的支出	13億1157万円	13億2083万円	全員賛成により可決
資本的支出	7億9194万円	8億7197万円	

(表示単位未満四捨五入)

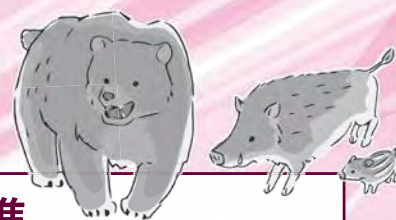
農地の地域計画を策定



紫波町史 編さん委員会始動



づくりへ 前進!!



有害鳥獣対策サポート隊活動を推進

有害鳥獣の捕獲に関わる人材育成を図るとともに、農地への侵入防止柵の設置や適正管理の啓発を推進します。

紫波中央駅

バリアフリー化令和6年3月開始に向けて取り組みます。
駅東口改札通路の開設に向け協議を始めます。





古館駅前整備事業完了

駅前広場は、完成と同時に供用開始予定です。

令和5年度 注目事業

人口減少対策

出産・子育て応援給付金、母子手帳を給付時に5万円
妊娠7カ月にアンケートし、保健師が悩みなどを聞きます。
移住定住支援として結婚支援金の所得要件を緩和します。

未来のまち



本格化する 公共施設照明LED化工事



紫波南大橋



ラ・フランス温泉館

予算決算常任委員会

令和5年度予算

暮らし心地の良いまちへ

集中審査

令和5年度の一般会計、特別会計、下水道事業会計を3月15日から20日まで予算決算常任委員会で審査しました。審査の結果は意見を付して、議長に提出しています。

町政全般にわたる数多くの質疑の中から、いくつかお知らせします。

※ **意見** は予算決算常任委員会から提出した審査意見です。



及川ひとみ 委員長



身も心もリフレッシュ！



長寿介護課

温泉保養施設

【熊谷 育子委員】

問 燃料費の高騰と

利用料に対する影響

答

利用料の値上げ

は予定していない。

町民が心身健康増進

のため、ワンコイン

で手軽に温泉を楽し

んでいただきたい。



農政課

後継者対策

【北條喜久男委員】

問 令和5年度から

の取り組みは。

答 従来の制度に比

べ、経営開始後の施

設、設備の導入、経

営発展の充実が図ら

れる新規就農者育成

総合対策事業補助金

制度がある。

意見 農業経営体と担

い手への支援・

育成を強化し、喫緊

の課題である後継者

対策に努めること。



農業委員会

地域計画作成

【高橋 敬子委員】

問 地域計画作成を

どのように進めるか。

答 現状の把握、農

家の意向について事

前にアンケートをと

っている。地域の方々

の話し合いを経て、

2年間で地域計画を

定める。

意見 農地有効利用の

推進および耕作

放棄地などの解消の

ため、農業委員会の

活動強化すること。





脱炭素に向けてエネルギーチャージ



地球温暖化対策課

脱炭素社会構築

【細川 恵一 委員】

問 令和5年度の取り組みは。

答 脱炭素社会構築検討委員会を設置し、省エネルギー対策、再生可能エネルギーの導入を図って

いく。多様な手法を用いた脱炭素の推進を行っていく。

意見 省エネルギー対策・再生可能エネルギーを導入し、脱炭素社会実現に努力すること。



企画課

ふるさと納税

【藤原 修一 委員】

問 寄付を増加させる方策は。

答 令和4年度は寄付を管理する事業者を変更した。4年度から店舗型ふると納税を2カ所で開催している。今後、返

礼品目、返礼事業者を増やす。

意見 ふるさと寄付対応事業については、魅力ある返礼品の確保と様々な手法により、必ず目標達成させるために尽力すること。



商工観光課

顧客創出プロモーション

【佐々木純子 委員】

問 酒産業でデジタル技術を活用し、顧客を創出できるか。

答 醸造事業者、関連事業者、消費者など町に関わっていく

方を増やす。社会全体のデジタル化を活用し、酒の町紫波の取り組みに共感していただくファンを獲得していきたい。



消防防災課

非常備消防事業

【阿部 秀一 委員】

問 機能別団員増員や消防団活動の理解を住民に図るために

周知をどのようにするか。

防フェスティバル、産業まつりなどで消防体験やチラシ配布を行う。

意見 消防団の処遇改善の検討をさらに継続し、合わせて消防団員の充実・強化に努めること。

答 条例の改正により機能別団員の条件の緩和がされ、報酬の増額もされる。消



子どもたちが消防車を見学体験





土木課

道路修繕

【根水 康博 委員】

問 道路のり面修繕計画の根拠は。

答 国の示された総点検調査要綱に基づき、被害の防止、危険箇所の調査、工法の選定、修繕費用な

どの修繕計画を策定する。

意見 道路や橋梁の安全性・利便性向上のため、計画的な整備に努めること。



整備が待たれる のり面



総務課

技師職員

【藤原 恵子 委員】

問 各課の技師人数は適正か。

答 技師は道路、施設などの建設関係を

中心に配置している。定員の調査では、同規模の自治体で全国と比較しても少なくな



都市計画課

空家対策

【戸塚 美穂 委員】

問 空家の抜本的解決策は。

答 国のガイドラインをわかりやすくしたパンフレットを新たに作成し、所有者などに周知していく。また所有者不明土地と相続登記の義

務化などは、税務課と連動して対応していく。

意見 空家の適正管理に向け、情報提供の在り方を検証するとともに、危険家屋の解体補助金を新設すること。



学務課

スクールバス運行

【北條 聡 委員】

問 降雨、降雪時に自転車通学生徒も利用できないか。

答 スクールバス利用の通学距離は、児童が2 km以上、生徒

が4 km以上を対象としている。紫波二中では、12月から3月の冬期間は3 km以上に短くし、特例的にスクールバスを利用している。



安全運転中



赤石公民館で開設中



こども課

こどもの家

【阿部美佳子委員】

問 赤石地区では小
学生が増えている
が、利用希望者に対
応できているか。待
機者は出ていない
か。

答 公営、民営施設

の間で連絡調整を行
っており、4月から
の入所希望者に待機
は発生していない。
意見 こどもの家につ
いては、健康面
に配慮した環境整備
に努めること。



環境課

盛岡・紫波地区環境施設組合

【箱崎 勝之委員】

問 負担金の増額の
内容は。

答 電気料の増、燃
料コークスの単価増
によるものである。

意見 ごみ処理の一部
事務組合が二つ

存続し、負担金が二
重に賦課される。施
設稼働までとその後
における負担額など
を精査のうえ、公表
すること。



国民健康保険事業特別会計

特定健診

【細川 久委員】

問 特定健診の体制
と受診率は。

答 令和5年度は各
公民館での実施と未
受診者への勧奨通知
を考えている。受診
率は、4年11月末現

在で47・7%、3年
の同月より2%増で
ある。
意見 成人病予防に向
けた特定健診の
受診率向上に努める
こと。



下水道事業会計

浸水対策

【浅沼 有朋委員】

問 下河原ポンプ場
の耐水化と、大坪川
分水工の工事計画は。

答 令和5年度の策
定業務の成果により
6年度に実施設計を
行い、7年度から工

事予定である。
意見 雨水管理総合計
画に基づき、安
全・安心な住環境に
向け、浸水対策など
確実な整備に努める
こと。



大坪川分水工の除じん機

計 画

「自助」「互助」「共助」「公助」を推進

議案第13号 第三次紫波町地域福祉計画

令和5年度～9年度

住民一人一人の暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会すなわち地域共生社会の実現を目指します。

地域住民の主体的な参加による相互扶助の仕組みづくりを支援し、地域団体などや関係行政機関がお互いに連携し、バランスのとれた地域福祉を推進するための理念や方策を示すものです。

問 計画の推進主体は。

答 全体を包含し向上を図るものであり、役場全体で関わっていく。

問 デジタル社会が進む中、人と人が集う機会が大切である。場作りをどうやっていくのか。

答 直接の対話や意見を聞き、支え合いの中から生まれたものが大事である。サロンの集まる場作りを進めたい。

国土を総合的かつ計画的に利用

議案第14号 国土利用計画紫波町計画(第2次)

町の区域における国土に関する基本的事項を定めた計画であり、第三次総合計画で示された基本的な方向性を踏まえて今回見直しが必要となり、策定するものです。

問 紫波インターチェンジ付近にある工業団地は、30ヘクタール以上の大型の需要に対応していくのか。

答 16ヘクタールあるが、大規模には対応できない。

問 宅地化のため、都市成長検討ゾーンがあるが、公共用地、工場立地に活用が可能か。

答 可能性としてはあるかもしれないが、法律的な調整が必要である。

国土利用計画紫波町計画調査特別委員会 (令和4年9月12日設置)

第1回 9月21日 第2回 10月20日 第3回 5年2月20日

委員会の主な意見

- ・土地利用構想図を見ると、都市的土地利用ゾーン、都市成長検討ゾーンについて、西部地区は、ほとんど設定されておらず、東部地区には全くないことで、道路整備などの生活基盤整備からも取り残されていく印象を受ける。時々の状況により、方向性の修正が必要である。
- ・今後、情勢の変化に即した個別計画の推進がなされるよう注視していく。

今ある営農環境を次世代に継承

議案第15号 紫波農業振興地域整備計画

令和5年度～14年度

計画の総合的な再検討を必要とすることが認められたことから、実効性のあるものに変更します。

市町村における農業の先10年間を見通し策定するものであり、おおむね、5年ごとに見直しを行うこととされている計画です。

主な見直し点

- 1 農業生産における課題と目標
 - 2 農地利用計画
 - 3 農業経営の規模拡大および農用地等の効率的かつ総合的な利用の促進
 - 4 農業生産基盤の整備および農用地等の保全
 - 5 担い手の育成・確保と安定的な就業
- ・新規および親元就農者の発掘・支援を行うとともに、関係機関と連携を図り、町の農業の魅力を発信しながら農業を職業として選択できる環境づくりを推進していく。農業従事者の安定的な就業を確保し、体質の強い農業構造の確立と農業・農村の発展を図っていく。

条例

適切な個人情報保護制度の運用

デジタル社会の形成をはかるための関係法律の整備に関する法律により、個人情報の保護に関する法律が改正され、同法が地方公共団体にも適用されることとなりました。

改正法では、国の目指す社会全体のデジタル化に対応した「個人情報保護」と「データ流通」の両立のため、全国共通のルールが適用されることとなり、関係条例などの整備が必要となりました。

議案第3号 紫波町個人情報の保護等に関する条例

改正法の施行に関し必要な事項を定めるほか、改正法では個人情報の対象が生存する個人に限定されることとなりました。死者に関する情報は保護の対象外とされたため、条例において独自のルールを設け、これを保護していきます。

議案第4号 紫波町情報公開・個人情報保護等審査会条例

条例を新設し、紫波町情報公開・個人情報保護等審査会を設置します。

議案第6号 紫波町行政改革推進委員会条例の一部を改正する条例

紫波町行政改革推進委員会では、行政改革に関する事項のみを扱います。



出産育児一時金 増額！

議案第5号 紫波町国民健康保険条例の一部を改正する条例

出産育児一時金の額が、現行40万8千円から48万8千円に増額改定されます。

消防団員確保に向け 処遇改善

議案第9号 紫波町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例

- 改正内容
- 団員確保のため、機能別団員を任用できる範囲を拡大
 - 災害時の人員確保のため、機能別団員の定年70歳を撤廃
 - 年額報酬の改正

… 班長	41,500円
機能別団員	18,250円
上記以外の団員	36,500円
 - 出動時間に応じた報酬を改正



こどもの安全を確保！



議案第10号 紫波町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

乳幼児の安全確保に関する計画策定などに係る規定、自動車運行の安全管理の徹底に係る規定を加えます。

議案第12号 紫波町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

児童の安全確保に関する計画策定などに係る規定、自動車運行の安全管理の徹底に係る規定を加えます。



除雪費用 増額される

議案第31号 令和4年度紫波町一般会計補正予算（第12号）

8650万円を増額し総額163億4291万円とするものです。

■ 主な補正予算（万円未満切り捨て）

〈歳入〉

項 目	金 額	補 正 の 理 由
子どものための教育・保育給付費負担金	1846万円	利用者の増加

〈歳出〉

項 目	金 額	補 正 の 理 由
地域型保育給付費	3298万円	利用者の増加
町道等除雪業務委託料	4411万円	除雪費用不足分

みなさんからの 請願 はこうになりました

3月会議前に受理した請願の結果をお知らせします。

請 願 件 名	請 願 者	紹介議員	付託委員会	委員会結果	議決結果
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度創設を求める請願	鈴木 壬午郎 じんごろう	細川 恵一	すこやか 町づくり	採択すべき もの	採択

発議案

発議案第1号

◆ 紫波町議会個人情報の保護に関する条例

個人情報の保護に関する法律の一部改正の施行後において、議会が保有する個人情報について適切な取り扱いを行うため、必要な事項を定めます。それとともに議会が保有する個人情報の開示、訂正および利用停止を求める個人の権利を明らかにすることにより、議会の事務の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利利益を保護しようとするものです。

発議案第2号

◆ 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度創設を求める意見書

加齢性難聴は、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因となるばかりか、うつ病や認知症の危険因子になることも指摘されています。補聴器がさらに普及すれば、高齢になっても生活の質を落とさず心身ともに健やかに過ごすことができ、認知症の予防ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながると考えます。

よって、国はこうした課題に対応するため、補装具制度の対象とならない加齢性難聴者の補聴器購入について、全国統一の公的支援制度を創設するよう強く要望します。



令和5年3月提出議案等…36件

(報告1件、条例11件、議決5件、契約1件、
予算12件、人事2件、その他2件、発議案2件)

- 選挙1 盛岡広域環境組合議会議員の選挙
報告1 紫波町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の専決処分
議案3 紫波町個人情報の保護等に関する条例 **P11**
議案4 紫波町情報公開・個人情報保護等審査会条例 **P11**
議案5 紫波町国民健康保険条例の一部を改正する条例 **P12**
議案6 紫波町行政改革推進委員会条例の一部を改正する条例 **P11**
議案7 紫波町情報公開条例の一部を改正する条例
開示請求者の責務などを定め、非開示情報の範囲および開示請求の期限を改める。
議案8 紫波町監査委員条例の一部を改正する条例
議員から監査委員を選任しない。
議案9 紫波町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例 **P12**
議案10 紫波町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 **P12**
議案11 紫波町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案12 紫波町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 **P12**
議案13 第三次紫波町地域福祉計画 **P10**
議案14 国土利用計画紫波町計画(第2次) **P10**
議案15 紫波農業振興地域整備計画 **P11**
議案16 町道路線の廃止 1路線の廃止
議案17 町道路線の認定 1路線の認定
議案18 令和4年度一般会計補正予算(第11号)
補正額 34,325千円
議案19 令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) 補正額 195千円
議案20 令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 補正額 100千円

- 議案21 令和4年度介護保険事業特別会計補正予算(第8号) 補正額 △2,587千円
議案22 令和4年度介護予防サービス計画事業特別会計補正予算(第1号)
補正額 1,321千円
議案23 令和5年度一般会計予算
予算額 14,404,128千円
議案24 令和5年度国民健康保険事業特別会計
予算額 3,247,932千円
議案25 令和5年度後期高齢者医療特別会計
予算額 367,600千円
議案26 令和5年度介護保険事業特別会計
予算額 3,490,597千円
議案27 令和5年度介護予防サービス計画事業特別会計
予算額 6,903千円
議案28 令和5年度下水道事業会計予算
収益的支出 1,311,567千円
資本的支出 791,941千円
議案29 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更
議案30 紫波町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
国の例に準じ、職員の休憩時間について、より柔軟に拡張するため、規定の整備をする。
議案31 令和4年度一般会計補正予算(第12号) **P13**
補正額 86,505千円
議案32 東北本線紫波中央・古館間七久保跨線橋の耐震補修工事委託に関する変更協定の締結
議案33 人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求める
議案34 監査委員の選任に関し同意を求める
発議案1 紫波町議会個人情報の保護に関する条例 **P13**
発議案2 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度創設を求める意見書 **P13**

ハラスメント防止に向けて

令和4年10月にイベント開催会場で議員による倫理条例違反が発生したことで、改めて議員としての自覚とハラスメントが及ぼす影響を学ぶ機会とし、令和5年3月29日に渡部容子弁護士を講師に迎え、研修会を開催しました。

二度と、住民の皆様の信頼を失墜させることがないように日々研さん、努力してまいります。



9 議員が

町政を問う

紙面の都合上○の質問事項を要約して掲載しています。

代表質問

各会派の代表者が町長や教育長が示す施政方針について、報告や説明を求め、疑問点を質すことを代表質問といいます。

1人の持ち時間は45分、質問の回数は3回までとしています。

質問者（登壇順）	質問事項（通告順）	掲載ページ
紫政会 佐々木 純子	○ 農業政策について ○ 教育について	P16
町民クラブ 根 水 康 博	○ 人口減少対策について ○ 脱炭素社会の実現について ○ 地域共生社会の実現について ○ 行財政運営について ○ 総合体育館、運動公園の施設整備について	P17
日本共産党紫波町議団 細 川 恵 一	○ 新型コロナウイルス感染症対策について ○ マイナンバーカードについて	P18

一般質問

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて、報告や説明を求め、疑問点を質すことを一般質問といいます。

1人の持ち時間は60分です。

質問者（登壇順）	質問事項（通告順）	掲載ページ
高 橋 敬 子	○ 視覚障がい者への情報伝達について ○ 狭あい道路等における消防・救急活動について	P19
阿 部 美佳子	○ 教育環境について	P20
北 條 聡	○ 新型コロナウイルスの感染症法上の位置付け引き下げによる影響および支援等について ○ 空き家等対策の取組みについて	P21
細 川 久	○ 農業の労働力および機械の確保について ○ 地区コミュニティの在り方について	P22
及 川 ひとみ	○ 水害対策について ○ いじめ、不登校への対応について ○ 子どもたちへの支援について	P23
藤 原 恵 子	○ 自治体の窓口で申請書類を記入しない「書かない窓口」の推進について ○ 「食糧安全保障強化政策大綱」への取組みについて	P24

3月定例会の傍聴者は延べ22人。議会傍聴にお越しいただきありがとうございました。

右のQRコードをスマートフォンや携帯電話で読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。一般質問の様子はインターネットによる生中継のほか、録画中継も配信しています。議会のホームページからお進みください。



農業政策

農業を担う人材を育成せよ

〔答〕 各種施策を推進していく



紫政会

さ さ き じゅんこ
佐々木純子 議員

問 農業生産基盤の整備や農地・農業施設の維持管理をどのように推進していくのか。

町長 紫波農業振興地域整備計画を見直し、上位目標を「今ある営農環境を次世代に継承するための持続可能な農業構造の構築」とし、基本方針と個別目標を設定した。

町長 農業分野の人材育成の取り組みは、いわてアグリフロンティアスクール、ICTや農業経営に関する研修への参加も引き続き勧めていく。ま



子実用トウモロコシの産地化検討会

た、紫波町内の農業法人などの協力を得て、働きながら学ぶ仕組みを構築し、担い手の経営安定を支援していく。

問 農政の課題解決にどのように取り組んでいるのか。

町長 国の制度や交付金などを、活用できるように農業者へ説明していく。また、子実用トウモロコシの導入や「まるっと中間管理事業」などのリーディングプロジェクトが、より広く浸透するように取り組んでいく。

問 小中一貫教育の成果と課題を検証し、児童生徒一人一人の個性を生かす学びの場を提供すべきではないか。

教育長 「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を学習過程に取り込んだ学習、ICTを活用することにより、一人一人の個性が生かされる学びとなるよう努めていく。今後、個に応じた指導を一層重視するとともに、探求的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、児童生徒の資質・能力の育成を図っていく。



タブレット授業に集中！

教 育

個性を生かす学びの場を

〔答〕 個に応じた指導を一層重視

問 地域とともにある学校づくりをどのように推進するのか。

教育長 コミュニティ・スクールの仕組みにより、学校・保護者・地域がそれぞれの立場で児童生徒の健全育成に携わり、学校と地域、子どもと大人が共に成長していけるように努めていく。

問 不登校児童生徒の学びにどのように取り組むか。

教育長 色々な事情で不登校となっている。回復を図るために、学校・保健室・民間のフリースクールなど様々な選択肢により社会的に自立していけるようにしていく。





町民クラブ
ねみずやすひろ
根水康博 議員



真剣に子育て勉強会(笑)

行政運営

町独自の支援策を図れ

【答】体制・地域づくりを検討

【人口減少対策】

安心して出産・子育てができる環境

の具体的施策・対応の取り組みは。

町長 全妊婦に対しアンケートを送付する。妊娠期の状況を把握し、不安なく出産を迎えられるよう支援をする。

出産・子育て応援給付金として、妊婦1人当たり5万円、出生した子ども1人当たり5万円を支給し、相談支援

と経済的支援を一体的に実施する。

問 「子育てをするなら紫波町」を目指し、町独自の支援策の考えはないか。

町長 町全体で、子どもを産むことが誇りに思えるような体制をつくり、そして子ども

は、宝であり家族の幸せであり社会の幸せと思える地域づくりを検討していく。

【脱炭素社会】

問 環境省の脱炭素先行地区以外においても、太陽光発電の設備支援策を講ずるべきではないか。

町長 環境省の重点対策加速化事業を活用し、再生可能エネルギーの普及に努める。また、再生可能エネルギーや省エネルギー設備の導入、建物の断熱改修などの相談窓口として「(仮称)脱炭素センター」を開設し支援を図る。

【地域共生社会】

問 少子高齢化が進む社会において、包括的支援の取り組み体制をどのように進めていくのか。

町長 総合相談支援体制づくり、社会とのつながりや参加の支援を重層的に進める。包括的支援体制の構築を図り「だれ一人取り残さない地域共生社会」の実現を目指していく。

【行財政運営】

問 高齢者などデジタル社会に比較的弱いとされる住民へのサポート体制は、どう進めるのか。

町長 住民の利便性の向上や業務効率化のため、今後行政手続きのオンライン化の実施に取り組んでいく。利用される方の立場に寄り添い、現行の手続き方法を一部残すなど、取り残される人のないよう手法を検討する。

【施設整備】

問 総合体育館、野球場、陸上競技場などの施設は、間もなく築50年を迎えようとしている。施設整備をどう進めるのか。



施設改修を町民が待ち望んでいます！

教育長 大規模改修などは、防災に配慮しながら将来にわたる新たな価値の創出と利用者の安全を確保した整備が必要である。スポーツ団体などの関係者や町民からの意見をいただき、体育施設の在り方について検討する。各部局が連携し、中長期的な施設整備計画の策定を進めていく。



新型コロナウイルス
感染症対策

十分なコロナ支援をせよ

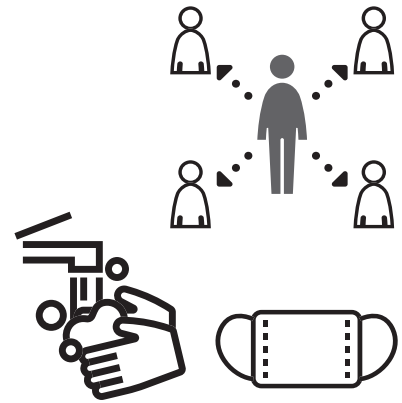
【答】新たな施策展開に努力



日本共産党紫波町議団

ほそかわけいいち

細川恵一 議員



感染対策は必要です

問 町としての感染症対策は。

町長 令和5年3月13日からマスク着用については、個人の判断によることとなっている。マスク着用の考え方が見直された後であっても、今後の感染拡大防止のためにも、引き続き感染対策が必要であると考えている。

問 5月8日から、季節性インフルエンザと同じ5類に移行する正式な表明があった。様々な影響が考えられるが、見解は。

町長 医療関係者の負担低減など、現実的に即した形で新型コロナウイルスに付き合っていかなければならない。第9波など今後の感染拡大に対しては、引き締めが必要になってくる。

問 コロナ支援の財源が打ち切られていく状況がある。コロナ対策全体の見解は。

副町長 国や県に対し生活支援、中小企業対策、農業対策の支援について働きかけていく。

副町長 国や県に対し生活支援、中小企業対策、農業対策の支援について働きかけていく。

問 町としての方針をどのように考えているか。

町長 マイナンバーカードの申請の推進を図り、令和5年2月現在で町の人口の75%を超える申請がなされている。今後も引き続き推進していくが、町の住民サービスにおいて、取得を要件とすることは予定していない。

町長 マイナンバーカードの申請の推進を図り、令和5年2月現在で町の人口の75%を超える申請がなされている。今後も引き続き推進していくが、町の住民サービスにおいて、取得を要件とすることは予定していない。

問 マイナンバーカードの交付は、希望者のみで義務ではない。交付率はどのようになっているか。

生活部長 約60%の交付率である。

問 デジタル技術を使える人と使えない

マイナンバーカード

取得で格差を出すな

【答】住民サービスの要件としない

人で行政サービスの差があつてはならないと思うが見解は。

町長 対応できない人には細かいサービスをしつつ、欲しい人にはぜひ取得していただきたい。町ではマイナンバーカードの取得の有無によって、サービスを制限することは考えていない。

問 個人情報の漏えいの危険があつてカードを作らない人もい

町長 いろいろな事象を懸念される方もいる。悪用されることのないようにしていく。



カード申請が進む窓口





たかはしけいこ
高橋敬子 議員



点字ディスプレイです

問 声の広報等発行事業の実施状況は。

町内の視覚障がい者数と支援体制は。身体障がい者手帳を所持している方は約90人。ヘルパー派遣による家事援助や、外出支援を行っている。身体機能を補完するものとして、盲人安全つえなどの補装具や、日常生活用具として、点字ディスプレイ、活字文書読み上げ装置などを給付している。

町長 町内の視覚障がい者数と支援体制は。身体障がい者手帳を所持している方は約90人。ヘルパー派遣による家事援助や、外出支援を行っている。身体機能を補完するものとして、盲人安全つえなどの補装具や、日常生活用具として、点字ディスプレイ、活字文書読み上げ装置などを給付している。

問 視覚障がい者の声を把握し受け止めて、必要な情報の提供を適切にできないか。

町長 社会福祉協議会に委託し、しわねつと、議会だよりなどと、朗読によりCDを作成している。発行頻度は月1回、6世帯10名が利用している。

町長 障害支援区分の認定調査の際や各種申請時、電話連絡などの機会を捉え、本人や家族、相談専門支援員などの関係者からの聞き取りに努めている。公文書については、視覚障がい者の方と意見交換を進めながら、有効な情報伝達の方法を検討していく。

視覚障がい者
支援

答 有効な情報伝達を検討

情報を適切に提供すべき

狭あい道路

気持ちに寄り添い改善を

答 生命を守ることを最優先

町長 緊急車両が通れない狭あい道路、橋梁を把握しているか。道路・橋梁幅員2.5m以下の区間を自動車交通不能区間とし、延長約36kmである。紫

町長 緊急車両のほか消防隊も現場に出向くことで人員を増やし、担架で救急車へ搬送が行われている。消防活動は、可搬式消防ポンプで行っている。

問 緊急車両が通れない場合の救急・消防活動は、どのように実施されるのか。

町長 救急隊のほか消防隊も現場に出向くことで人員を増やし、担架で救急車へ搬送が行われている。消防活動は、可搬式消防ポンプで行っている。



改良整備が必要です！

町長 すぐに改善することとは難しいが、狭あい道路において、消防・救急活動の厳しい現実があることを常に認識し、生命を守ることを最優先に進めていく。

あべみかこ
阿部美佳子 議員

子ども中心の取り組みを

【答】 目的達成できる方向性を定める

教育環境

【学校再編】
問 これまでの成果と課題をどのように捉えているのか。
教育長 望ましい学級規模となり、全小学校で複式学級が解消された。一部の学年ではクラス替えが可能な体制にあり、多様な他者との交流により協調性や思いやる心が育っている。小中一貫教育の推進では、検証委員会が実施したアンケートで、保護者が「判断できない」という回答があり、小中一貫教育の意義・



地域の方とフラワーアレンジメント

目的・体制整備の普及が課題となるので改善に取り組んでいく。
【学校運営協議会】
問 コミュニティ・スクール（CS）導入は、学校と地域の連携を強化するものである。成果と課題は。
教育長 シンポジウムの講師から令和4年度の成果は「紫波の実践はCSの本質を捉えた良い活動である」、課題は「いい学校、いい地域となるための熟議を継続し、大人も子どもと一緒に成長してい

こうと実践すること」の評価があった。
【部活動地域移行】
問 部活動の地域移行はどのように進められるのか。
教育長 4年12月に「5年度から7年度までを改革推進期間とする地域連携、地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期実現を目指す」新たなガイドラインが示された。
問 町はどのように取り組みむのか。
教育長 4年10月に紫波町部活動の地域移行に関する学習会を開催したほか、教育委員と職員が部活動先進地へ視察を行い情報収集した。教育委員会でもスポーツ団体ほか文化芸術団体などに参加していただき、学習会、意見交換会および準備委員会などを開催し、用

意周到に所期の目的が達成できるよう方向性を定めていく。
問 いつ頃方向性が定められるのか。
教育長 明確な回答はできないが、5年度は文化団体も含めて可能性の調査、共通理解など情報収集を行い、6年度後半あたりに基本的な行程表と方針が出せるよう進めたい。



指揮者と心を合わせて美しいメロディ♪

問 保護者が安心して行政・学校と同じ方向を向くためにも丁寧な周知を行うべきでないか。
教育長 小、中学校の校長先生たちと今後、主役である児童生徒の意見を聞き、一緒になって同時進行で進めていきたい。





ほうじょう さとし
北條 聡 議員



マスクを外して答辞😊

コロナ感染対策

医療提供体制を周知せよ

【答】医師会と適切に行う

問 教育現場でのマスク着用について、丁寧な説明と指導に取り組むべきでは。

教育長 新学期の考え方は改めて通知される。今後は個人の主体的な選択を尊重し、保護者と本人の自主的判断に委ねられるが、いじめなどにつながるのではないように保護者の協力のもと学校で最大限配慮していく。

問 感染した場合の医療提供体制、費用負担の周知は。

町長 国では、医療費の急激な負担増が生じないよう期限を区切り一定の公費支援を継続し、幅広い医療機関で患者を受け入れるよう準備を構築する。町では、紫波郡医師会と情報共有を密にし周知を適切に行う。

問 地域活動復活への助言や補助金を支援すべきではないか。

町長 令和2年12月に新しい生活様式に基づく紫波町地域活動マニュアルを作成し、昨年度までは市民生活応援補助金により支援してきた。今後も社会情勢の変化が見込まれる中、適切な選択ができるよう引き続き助言を行う。

解体改修費用を助成すべき

【答】リノベーションまちづくり事業と連携

空家対策

問 特措法改正後の管理不全となる空家の見込みは。

町長 国土交通省では「空家等対策の推進に関する特別措置法」の改正を進めてお

り、管理不全とする空家は、52件を見込んでいる。

問 空家総合判定の取り組みの考えは。

町長 改正後の特措法では、管理不全空家と判断された場合は固定資産税の優遇措置を解除することが盛り込まれている。今後、改正案の指針を踏まえ紫波町空家等対策協議会で判断を行う。

問 空家に関する建物解体費用や改修費用を助成できないか。

町長 基本的に個人の財産である空家の管

理は所有者が行うことが原則である。利活用可能な空家は、リノベーションまちづくり事業と連携し、令和5年度から改修の支援を行う予定である。

問 専門の担当者を配置すべきでないか。

町長 総合窓口の機能は、関係部署との連携・調整を行い、相談者へ情報提供する。また、関係法令が多岐にわたるため、専門的な知見が必要な場合には県で示している相談窓口を紹介している。





ほそかわ ひさし
細川 久 議員

従事者の高齢化対策に挑め

【答】意識改革に取り組む

農業振興

問

農業の従事者が高齢化している。労働力確保の取り組みは、

町長

企業を定年した後、企業に就農する定年還流者を見込んでいます。

農作業への協力者を増やす取り組みをしています。地域の農業に興味を持っていただくため

雇用もできる農業経営体を作って地域の中での農業に対する意識改

革が必要と捉えています。若者の労働力の確保のためにWeb

問

3を活用できないか。

町長

岩手中央農協と連携し農業へ興味を



大型機械による春作業始まる

持つ人口を増やし、農作業への協力者を増やす仕組みを構築していく。Web3の活用も模索していく。

町長

スマート農業推進のため機械購入補助金を県や国に支援を

要望できないか。

農政課長

機械購入に対する補助金はいつでも相談を受け付けている。スマート農業に対する補助金は常に県、国に要望している。

※次世代のインターネットを表す言葉

地区コミュニティ

集落支援員を配置すべき

【答】意向と進捗状況を把握

問

地域運営組織を立ち上げる際の集落支援員の設置をどのように進めているのか。

町長

各地区の皆さんと対話により、地域運営組織設立の意向と進捗状況を把握。また、設立に向けた話し合いの場と運営や活動を補助する集落支援員の配置を行っている。

問

集落支援員の採用に当たってどのような条件があるのか。

企画課長

主体的に活動するのではなく、会議の場で、まとめ役であったり、支援できたりする人を注視して面接を行っている。

問

地区公民館をコミュニティセン

ターにする考えはないか。

町長

公民館における社会教育と地域づくり双方の観点から、地域活動の拠点の在り方について研究を重ね、地域の実態に合わせ慎重に判断する。

問

地域づくりの拠点としての施設である看板を掲げてはどうか。

企画課長

看板や名称も重要だが、実態がどう伴っていくかを重視して考えていく。



「地域づくり拠点の在り方」勉強会





おいかわ
及川ひとみ 議員



下川原ポンプ場の心臓部

水害対策

豪雨対策を進めよ

〔答〕 岩手河川国道事務所と連携

問

日詰第1の2排水区は、最優先に雨水対策を進めることになっているが整備状況は。

町長

強制排水ができる施設が整備されていないことから、大坪川排水区へつながるパイプ管の活用について検討を進めている。

問

緊急時には移動できる排水設備が必要ではないか。

町長

防災減災対策として、岩手河川国道事務所と連携し、排水ポンプ車の出動要請を行うなど、浸水被害の軽減に努めていく。

問

排水ポンプ車の出動要請は、ある程度水がたまった時ではないのか。

消防防災課長

水位などの確認により、要件に基づき要請ができる。

いじめから守る対策を

〔答〕 実態を把握し対応する

子ども支援

問

いじめ対応の支援策は。

教育長

教職員がチームとして対応することや、学校運営協議会の熟議により対応策を考える。各学校でいじめ問題に対し、今以上に真摯な対応に努めている。

問

いじめ対応策として特例的に少人数学級にできないか。

教育長

学級編成および教職員配当基準があり難しい状況にある。県教育委員会に、生徒指導に係る加配教員を要請するとともに、町の施策によるスクールヘルパーや教育相談支援員を配置し、学校に寄り添う支援を行っている。

問

教育機会を確保するため、フリースクールもあるが、町の支援が必要ではないか。

問

町外の児童生徒も施設を利用している状況がある。支援は、一自治体だけでなく、県も含めた広域での対応となるよう関係機関に要請している。

町長

小中学校とも給食費を無償とする自治体が増えている。町でも実施できないか。学校給食に関する町の喫緊の課題は、新しい学校給食センターの施設整備である。現段階では実施は考えていない。



建て替えが急務な給食センター



ふじわら けいこ

藤原恵子 議員

取り組みを推進せよ

自治体DX

〔答〕 順次導入について検討

問

行政事務の効率化を図るため、「書かない窓口」が全国で広がっている。町でも進めるべきではないか。

町長

全国複数の自治体において各種税証明書発行や住民異動届などで進んでいる。今後、「自治体窓口DX saas」の動向を注視し、順次導入について検討していく。

問

自治体DX（デジタル化）に期待さ



デジタル化が進んでいく窓口

れることは。

財政課長

オンライン申請を進めることにより、利便性の向上や効率化が図られる。

問

自治体DXに対する町としての準備は。

企画総務部長

データ連携など法的に整備し方向性を決めていく。

※書かないワンストップ窓口に取り組みやすくなる環境の提供

食料安全保障強化政策大綱

堆肥利用の促進を図れ

〔答〕 ペレット化を進めていく

問 農業経営継承の取り組みは。

町長 紫波農業振興地域整備計画に基づき、農業経営体の支援とともに、令和7年に公表予定の地域計画を作成のためヒアリングをしながら、持続可能な農業経営体の経営継承を支援していく。

問 2030年までの目標に化学肥料使用量を20%低減するとあるが、堆肥のペレット化試作品の状況は。

町長 えこ3センターでは、「紫あ波せみらいたい肥」の製造、販売を行っている。国内の肥料価格高騰や、みどりの食料システム戦略などにより、堆肥

による土壌改良効果が目目されてきているため、堆肥利用促進の手法の一つとして、ペレット化を進めている。現在、試験製造を終え、製品を販売できるか確認しているが、大量生産、販売に対応する製造工程ではない。

問 ペレット化について国の制度を利用できないか。

町長 利用できるものは取り入れ、えこ3センターの堆肥1,100トンの利用を目指して進めていく。



えこ3 堆肥で地産地消



議会だより



No.204

令和5年4月26日発行

追跡

あの質問はどうなっている



空家対策 ～未然防止、適正管理、利活用の促進のために～

○ 平成30年3月 紫波町空家等対策計画策定

空き家バンク開設

○ 令和2年12月 紫波町空家等の適切な管理に関する条例制定



令和3年12月会議 一般質問

問 空家等対策事業について、現状と課題は。**答** 紫波町空家等対策計画の作成当初に比べて、空家戸数は減少、老朽化した空家などの除却戸数は増えた。住民への情報発信と所有者などへの当事者意識の啓発が今後の課題と認識している。

令和4年9月会議 一般質問

問 空家等を活用した移住・定住の促進について考えは。**答** 空家等の総数は、計画策定時に比べ18%余り減少しているほか、老朽化した空家の除却も50戸を越えるなど、一定の成果が現れている。空き家バンクを活用し、所有者と利用希望者のマッチングを行った結果、令和3年度末まで累計で登録数19件のうち12件が成約に至った。空き家バンクの取り組みを継続するとともに、町の認知度を上げ、移住・定住に努めていく。

○ 第2期紫波町空家対策計画策定（令和5年度～9年度）

令和5年3月会議 一般質問

問 空家に関する建解体費用や改修費用を助成できないか。**答** 基本的に個人の財産である空家の管理は所有者が行うことが原則である。利活用可能な空家は、リノベーションまちづくり事業と連携し、令和5年度から改修の支援を行う予定である。

町では、幸いにも空家率が低い状況であるため、解体費用の助成を行わず、良好な管理がなされるよう所有者に対して適切な指導を行っています。

空家の所有者は約4割が町外に住所がある方です。問題となる空家を増やさないために、今後も町の対応を注視していきます。

視察研修レポート

議会では、政策提言に結びつけることを目的として、常任委員会の所管ごとに調査研究を行っています。

いきいき町づくり常任委員会

担当所管 企画総務部 産業部 農業委員会

委員

藤原修一委員長

高橋敬子 阿部秀一 箱崎勝之 北條喜久男 細川恵一 藤原恵子

鳥獣被害対策

令和4年10月18日 場所：香川県土庄町^{とのしょうちょう}

〔調査研究のまとめ〕

土庄町では、有害鳥獣捕獲のくくりわな見回り作業の負担が大きかった。ICT導入後は携帯電話の通信を活用し、見回り作業が毎日から月1回に軽減した。その結果、わなの設置数増加が可能となり、被害額も減少している。



当町と同じく農業従事者の減少や高齢化、担い手不足、鳥獣被害対策実施隊員、猟友会会員の高齢化など課題も抱えている。しかし、狩猟免許取得費用全額補助、捕獲奨励事業、ワイヤーメッシュなどの資材提供・捕獲鳥獣の回収業務委託など多岐にわたり、有害鳥獣対策は充実していると感じた。

当町においても、農業従事者が今後も意欲的に営農が継続できるよう、また市街地での有害鳥獣被害を防げるよう、ぜひ委員会から政策提言していきたい。

すこやか町づくり常任委員会

担当所管 生活部 建設部 教育部

委員

根水康博委員長 熊谷育子副委員長

浅沼有朋 北條聡 戸塚美穂 阿部美佳子 細川久 及川ひとみ

空家対策

令和5年1月30日 場所：秋田県大仙市^{だいせんし}

〔調査研究のまとめ〕

空家等の適正管理に関する条例を東北でいち早く制定し、空家などの問題に対する市の対策や手続きを体系化することで、市民の安全で安心な暮らしに努めている。

空家対策は、お願いではなく指導であるとの取組方針である。令和3年度から補助金制度の拡充により、対応が大幅に増加した。

全体的な取り組みを見直し、必要箇所に拡充と強化を図っていると感じた。

当町においても、第2期紫波町空家等対策計画（令和5年度から9年度）策定に向けて、今後、①危険家屋の解体・改修等の町単補助金を新設し、適正管理を促進する②庁内各課の役割も含めて、連携体制（関係機関、業者等）の構築を図る③わかりやすいパンフレットを作成し、取り組みの周知を図るなどについて、委員会での議論、関係課との打合せなどを進めていくことが必要と考える。





議員が依頼に伺った際は
ご協力をお願いします。

聞かせて まちの声

町内の方々に寄稿していただきました

酒の町として



ひろたちえこ
廣田千栄子さん
(水分地区)

紫波町には酒蔵が四つあり南部杜氏発祥の地として知られています。先人から受け継がれた伝統的酒づくりは紫波町の自慢すべきものであると思います。町内の酒蔵巡りツアーはすぐに定員となり、お酒のイベントは大勢の人達で賑わいます。また、紫波町には地酒の他、自園自醸ワイン、サイダーがあります。酒の町の発展として、もっともっと力を入れてほしいと思います。



そろい踏み自慢の地酒

これからの農業について



かまだ ゆずる
鎌田 禅さん
(赤石地区)

私は専業農家になって7年目になる。25歳の時強い意志をもって農業という職業を選んだわけではない。しかし、今、農業をやっている、今後の農業を支える立場として、もっと同じ若い世代が増えしてほしいと思う。

様々な農業を支援する制度があるが、結局のところ自身が農業に「興味」を持つかに尽きると感じる。

担い手の具体的な広報は農協で頑張っているが、個人でもスマホやパソコンで情報発信ができる今、農業の魅力を探し続け、いかに他の人へ伝えていくかを重要視している。



田植えが始まります

心豊かな時間



ふくだみ かこ
福田美加子さん
(赤沢地区)

令和5年2月23日、あらえびす記念館で不来方高校音楽部によるコンサートを聴いてきました。素晴らしい歌声に、心豊かな時を過ごせて幸せな気分でした。

なかなか普段は、あらえびす記念館に足を運ぶことはありませんが、野村胡堂関係の映画、レコードなどの資料があるそうです。あらえびす記念館の利用率は良く知りませんが、近くに統合したばかりの学校もあり、児童生徒に紫波町の歴史や偉人の業績に触れてもらえればと思います。

「温故知新」



日本一の歌声

人権擁護委員

藤尾智子さんを適任と決定

法務大臣が委嘱する人権擁護委員の候補者に、赤石の藤尾智子さんを適任と決定しました。任期は令和5年7月1日から3年間の予定です。人権擁護委員は法務局職員とともに、人権侵害事件の調査処理、人権相談、人権啓発活動などを行います。

町監査委員

熊谷順太さんの再任に同意



任期満了に伴い、赤石の熊谷順太さんを再任することに同意しました。任期は令和5年4月1日から4年間です。

自治功労表彰を受賞



地方自治の発展に功労があったことに対する表彰を3人の議員が受賞しました。

- 全国町村議会議長会表彰
・議員在籍15年以上
北條 喜久男 議員
- 全国町村議会議長会表彰
・議員在籍11年以上
箱崎 勝之 議員
藤原 修一 議員

表紙の写真

元気よく育て！ かわいい笑顔！



四月一日、町内の保育施設で入園式が行われました。子どもたちは、お父さんやお母さんと一緒に、抱きかかえられたり、しっかりと足取りで手をつないだりして登園し、新しい生活の一步を踏み出しました。園では、預かる際に先生が子どもの様子を聞き取るなど、万全な態勢を備えていきます。先生方の笑顔も待っています。子どもたちの健やかな成長を願っています。



ペンをおいて

第5回WBCで侍ジャパンが14年ぶりに優勝を果たしました。一戦一戦ドラマがあり感動と元気をいただきました。選手の皆さん本当にありがとうございます。春は別れと出合いの季節といわれますが、卒業式では子どもたちの成長した姿、そして入学式では元気な姿を

見ることができました。コロナ禍の中頑張った皆さんにエールを送ります。7人の編集メンバーでの議会だより編集は残すところ6月会議1回となります。精一杯努めてまいります。

細川 久

発行・編集責任者

議長 武田 平八

広報広聴常任委員会

委員長 細川 久

副委員長 阿部美佳子

委員 高橋 敬子

浅沼 有朋

北條 聡

阿部 秀一

佐々木純子



議会からのお願い 議会だよりの取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



植物油インキを使用しています



議会だより



No.204 令和5年4月26日発行